

お知らせ

○学習参観（公開授業）について

10月3日（土）に保護者参観を兼ねた公開授業（外部）を行います。
授業時間は、3校時の10：30～11：15です。よろしくお願いします。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		6 年	
教 科	国 語	英 語	道 徳	理 科	国 語	国 語	算 数	算 数
指導者	有 黒 富 田	ブレント 窪 田	税 田	日永田	大 畑	福 丸	田 中	伯 川
教 室	1年1組 教室	英語 ルーム	3年1組 教室	理科室	国語 ルーム	5年1組 教室	算数 ルーム	6年1組 教室

さよならタイム（11：15～11：30）

※下校バスは11：30に出発します

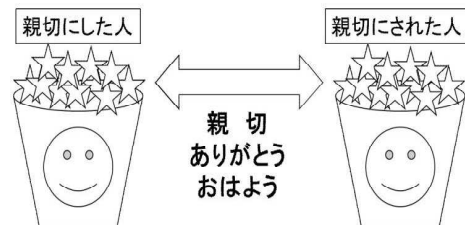
学校の教育活動から

○1学期終業式でお話させていただいたこと・・・「幸せのバケツ」

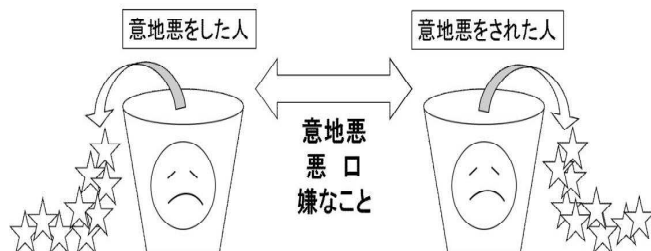
9月25日（火）に終業式を行いました。そのときにお話させていただいたのが、絵本「幸せのバケツ」（キャロル・マックラウド作、デヴィット・メッシング絵）というお話です。「幸せのバケツ」は次のような内容です。

世界中の誰もが目には見えない「幸せのバケツ」を持っています。子どもも、大人も、高齢者も赤ちゃんも、ペットもです。見えないのだけれど、このバケツがいっぱいだと、人はみんな嬉しくなります。逆に、空っぽだと悲しくなります。では、どんなときにこのバケツはいっぱいになるのでしょうか？

それは、誰かに親切にしたり、優しいことばをかけたりますと、親切にされた人のバケツは幸せでいっぱいになります。また、親切にされた人ばかりではなく、親切にした人のバケツもいっぱいになるのです。右図のように、親切や温かな言葉かけがお互いのバケツをきれいで温かな星（幸せ）でいっぱいにしているのです。



反対に、人に意地悪をしたり、悪口を言ったり、無視したりすると、意地悪をされた人のバケツは空っぽになります。そして、意地悪をされた人ばかりでなく、した人のバケツも空っぽになるのです。右図のように意地悪や悪口がお互いのバケツからきれいで温かな星（幸せ）をたくさんこぼしていつているのです。



絵本は、こうした内容について、様々な例を通して訴えかけています。幸せというと、自分のことばかりに目を向けがちですが、むしろ、誰かの幸せを考えることが自分の幸せにつながることを教えてくれています。

「幸」という字は、180度ひっくり返しても「幸」と読めます。自分から見た幸せが、相手にとって不幸をもたらすものは本来の幸せとは違うような気がします。どちらの立場から見ても変わらない幸せこそがみんなが求める幸せのような気がしてなりません。終業式では、このような話をさせていただきました。子どもたちの頭の片隅に少しでも残ってもらえると嬉しく思います。

あなた ↓
幸
わたし ↑